

あやべ 市議会だより

Ayabe City Assembly News Report

★ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック！

第 109 号

2015年(平成27年) 5月発行

発行

綾部市議会

綾部市若竹町8の1
綾部市議会事務局

TEL・FAX (0773) 42-1259

E-mail gikaijimukyoku@city.
ayabe.lg.jp



由良川花壇展で表彰を受ける豊里幼児園の園児たち

3月定例会

綾部創生予算可決

子育て支援のさらなる充実へ

開かれた議会を目指して

第17回日曜議会を開催

主な内容

主な議案の審査内容	2
日曜議会開催の報告	2
予算審査の内容	4
〈平成27年度当初・平成26年度補正〉	
討 論	6
議 決 結 果 の 一 覧	7
代 表 質 問	8
一 般 質 問	10
次世代からのメッセージ	14

平成27年3月定例会を3月2日から24日までの23日間の会期で開催しました。

本定例会に、市長から提案された議案は50件（条例関係22件、予算関係23件、その他2件、人事関係3件）、議会から提案された議案は1件の合計51件で、すべて原案のとおり可決・同意しました。

主な議案の審査内容

3常任委員会での審査状況などを報告します。

総務教育建設委員会

本委員会では、付託された9議案について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

●市立幼稚園保育料の新しい条例が制定されます

子ども・子育て支援法が施行されることに伴い、幼稚園保育料について、従来一律1万円であったものを、保護者の所得に応じた「応能負担」とするものです。

保育料の額については、従来の額を軸とし、「幼稚園希望プラン」とも整合が図られます。

質疑の中で「改正により保育料の収入はどうなるのか」に対して、「予算段階のシミュレーションでは、収入は若干減額の見込みである」との答弁がありました。

●市営住宅に係る「訴え」が提起されます

市営住宅における無断退去や長期の家賃滞納への納付指導に対して、誠実な対

応が見込めない案件については、やむを得ず法的措置を講じる必要があると判断。訴訟を提起するに当たり、地方自治法の規定に基づいて議会の議決を求めるものです。

質疑の中で「訴訟を決断するに至った理由は」に対して、「長期滞納などに対する納付指導に対しても、誠実な対応が見込めない案件については、毅然とした対応が必要と判断したものである。今後も引き続き、入居者の生活状況に配慮しつつ、納付指導や滞納回収に取り組み、適正な債権管理に努めていく」との答弁がありました。

●消防団員の出動手当が増額されます

台風や豪雨災害に対する消防団員の献身的な活動に対し、出動手当について1人1回につき「1500円以内」を、「2500円以内」に増額しようとするものです。

質疑の中で「手当の金額は妥当なのか」に対して、「近隣の状況を参考に、財政負担も考慮した額である」との答弁がありました。委員間の意見調整では、「手当の改正は評価するが、回数だけでなく出勤時間も考慮した手当を検討された」との意見がありました。

委員会では、その他6議案について審査を行い、全員賛成で可決しました。



水害で活動する消防団員

議会情報公開条例に基づく公文書の開示実施状況

昨年4月1日から本年3月31日までの公文書開示請求は4件ありました。議会に関する情報公開については、議会事務局（電話42-1259）へお問い合わせください。

日曜議会の報告



3月8日に開催しました第17回日曜議会は延べ84人のみなさまにお越しいただきました。ありがとうございました。

議会は開会中、いつでも傍聴できます。ぜひお越しください。



市立の物部保育園

産業厚生環境委員会

本委員会では、付託された14議案について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

●市立物部保育園でも一時預かりと延長保育を行います。

子ども・子育て支援法の施行に伴い、物部保育園において、新たに一時預かり保育と延長保育を実施するため、開所時間や保育時間、利用料について、新しく条例を制定するものです。

質疑の中で「延長保育の利用希望はあるのか」に対して、「保護者に確認したところ3人ある」との答弁がありました。

●介護福祉士育成修学資金の貸与制度ができました。

介護福祉士養成施設に在学、または入学することが決定している者で、卒業後1年以内に、市内の介護事業所で介護福祉士として従事しようとする意志を有する者に、2学年分120万円を限度として入学金、授業料の資金を貸与するものです。

質疑の中で「舞鶴にYMC Aがオープンするが広報等はどうか」に対して、「北部地域で連携して学校訪問もしており、市の広報でもお知らせしている」との答弁がありました。

委員間の意見調整では「返還免除について、同一事業所に3年間従事した時とあるが、同一でなくても市内の事業所に従事した場合も返還免除となるよう検討すべき」との意見がありました。

●介護保険料が変わります。

基準月額が、18・2%増額して6202円になりました。ですが、保険料軽減策として、所得基準額を国基準より下げて13段階に変更するものです。

質疑の中で「保険料はほとんど上がるが、持続可能なのか」に対して、「介護予防に力を入れて、結果として給付を下げることにしながらしていきたい。持続可能な制度のあり方について国にも要望はしていく」との答弁がありました。

委員間の意見調整では「大幅な値上げであり、所得段階のさらなる細分化等で保険料軽減策をとるべき」との意見がありました。

●旧母子寮等の建物が無償譲渡されます。

平成24年度末をもって廃止となった旧母子寮等が、

(社)綾部福祉会に無償譲渡されるもので、建物の老朽化が著しいため、同福祉会が自己負担で解体し、新たな障害者就労支援事業所を建設しようとするものです。

質疑の中で「土地は無償貸付とのことだが、無償譲渡することは考えなかったのか」に対して、「土地の無償譲渡についても検討したが、市の関与も残すという観点から無償貸付とした」との答弁がありました。

委員間の意見調整では「市街地に障害者共同作業所が設置されることは素晴らしい。市としても支援すること」との意見がありました。

委員会では、その他10議案について審査をしました。採決の結果、介護保険条例の一部改正は賛成多数、ほか13件は全員賛成で可決しました。

同意した人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦
四方 健 治さん
(里町) 〓再

●教育委員会教育長の任命
足立 雅 和さん
(寺町) 〓新

●監査委員の選任
人見 保 幸さん
(物部町) 〓新

議会提案の議案

●市議会委員会条例を改正
地方自治法の改正に伴い、委員会へ出席を求める者について、「教育委員会の委員長」を「教育長」に改正しました。

平成27年度当初予算・平成26年度補正予算 ～追い風を活かし、積極予算を可決～

予算決算委員会

3月11日に総括質疑を行い、14人の委員から41件にわたる質疑がありました。

平成27年度当初予算及び平成26年度補正予算は、引き続き、議案審査を3月16日から19日まで、4日間にわたり行いました。

付託された議案は平成27年度当初予算13件（一般会計・特別会計10件・公営企業会計2件）と平成26年度補正予算10件（一般会計・特別会計7件・公営企業会計2件）の計23件です。

●27年度当初予算の内容

一般会計の予算規模は、170億6749万円前年度対比で1・8%の減となつています。また、特別会計10件（総額136億5924万円、7・2%増）と公営企業会計2件（総額79億1533万円、6・2%減）を合わせた全13件の予算規模は386億4206万円となり、前年度対比で0・2%増の予算が編

成されています。

●主な意見としては

審査では、執行部からの説明に対し、委員が質疑を行い、その後、意見調整と採決を行いました。各委員の主な意見は次のとおりです。

【一般会計】

○補正予算と当初予算を連動させ、地域経済再生への切れ目のない予算編成を評価する。

○地方創生人材支援制度活用事業を活かし、地方版総合戦略と第5次綾部市総合計画後期基本計画を策定。いきいきとした綾部のブランドデザインが描かれることを期待する。

○固定資産税は現況課税が原則であり、現地確認が必要である。GIS（地図情報システム）を活用した今回の土地現況地番図の更新や新規作成は必要なのか。執行前に十分な検討を行うこと。
○公共施設は住民と密接な施設である。地域住民との協働により最適配置を願う。

○清山荘の取り組みを評価する。西部、東部地域への拡大の検討を願いたい。

○医療費を中学生まで通院も拡大されたことや、第3子保育料の無料化、放課後学級6年生までの受け入れを評価する。

○平成26年度実施された臨時福祉給付金支援事業の支給率は60%程度にとどまり、27年度においては、さらに丁寧な説明とPRに努められ、所得の低い方への負担軽減に努められたい。

○指定ごみ袋のレジ袋タイプの製作・販売を評価する。普及のために一定期間販売単価を現在のものと同額にするのと同時に45リットルのレジ袋タイプの製作・販売も検討されたい。

○人間ドックに対する期待は大きい。さらに受診率を高める啓発に努め、二カ所ある医療機関を有効利用する対策を求めたい。

○こんにちは赤ちゃん事業による、全家庭の訪問を評価する。引き続き現場の声から子育て支援を強められたい。

○米やお茶などの農業機械導入の促進を評価する。さらにパイプハウス事業など、市の単独予算を活用し、農家の所得向上に努められたい。

○農地中間管理機構受託事業を活用し、農地集積が進むことを期待する。

○林業戦略会議で林業振興策の策定は中山間地の主要産業であり、森林王国確立のため、早急な策定と事業スタートを望む。

○空き店舗が増える中で、チャレンジショップ支援事業は、店舗の活性化と新規起業者を創る機会となる事業であり大いに期待する。

○あやべ温泉は、長年に渡り厳しい状態が続いている。今一度、設立の趣旨と独立採算が原則であることを思い起こし、全庁挙げて抜本的改革を進められたい。
○借上型市営住宅制度の導入に当たっては、確保が厳しい中ではあるが、借上げに努力願いたい。
○内水処理の仮設ポンプ設置を評価する。引き続き内水対策を強化されたい。
○安全・安心の要として、

地域に貢献する消防団員の
 出勤手当の単価を増額改正
 されることを高く評価する。
 ○消防署員の充足率が近隣
 市と比較しても低い。ドク
 ターヘリ、研修、講習など
 で休日も出勤しているが、
 命に直結する仕事であり早
 急に増員を求めらる。

○英語教育や特色のある教
 育などグローバル人材の育
 成や校舎改築など、教育環
 境の充実に向けた予算を評
 価する。

○格差と貧困を連鎖させな
 いため「未来塾」に期待
 をする。校内学力補充など
 との連携と福祉へのつなが
 りができるようにすること。

【市立診療所等特別会計】

○市立診療所が設置されて
 いる遠隔地は、市が医師会
 等との連携で、在宅医療の
 充実をさせたい。

【国民健康保険特別会計】

○保険料及び一部負担金の
 減免制度の周知徹底を行う
 こと。

【介護保険特別会計】

○要支援1・2の新総合事
 業移行は平成29年4月から
 とすること。またサービス
 低下を起ささないよう市が
 責任をもつこと。

【地域排水事業特別会計】

○水資源保全や生活環境の
 観点から、水洗化率の向上
 に努めること。

【上水道事業会計】

○新第一浄水場建設に当た
 っては、将来ともに安定し
 た水源確保の観点からも施
 設の整理統合を視野に入れ
 た施設規模とすること。

【病院事業会計】

○引き続き産婦人科の医師
 確保に努力を願うとともに、
 安心して必要な医療を受け
 られる医療体制の確保を願
 う。

●26年度補正予算の内容

一般会計と特別会計7件、
 公営企業会計2件の合計10
 会計で補正を行い、総額2
 億4588万円の減額とな
 りました。

一般会計では地域住民生

活等緊急支援のための交付
 金事業費の計上（1億31
 85万円）と事業の確定見
 込みによる補正です。

●主な意見としては

○海の京都・観光推進事業
 の推進に当たっては、京都
 府など関係機関とともに、
 目に見える効果となつて表
 れるよう事業推進されたい。

○市内の消費喚起を促す「プ
 レミアム商品券」の発行に
 期待する。過去の実績を参
 考に十分な準備とPRを行
 い、早い段階での実施を要
 望する。

●審査の結果

採決の結果、平成27年度
 一般会計、介護保険特別会
 計、上水道事業会計の3議
 案は賛成多数となりました
 が、これらを除く20議案は
 全員賛成で可決しました。

なお、本会議での採決に

際しては、賛成多数となつ
 た3議案に対し、波多野文
 義議員から賛成、井田佳代
 子議員から反対の立場で討
 論がありました。

（6ページに要旨を掲載）

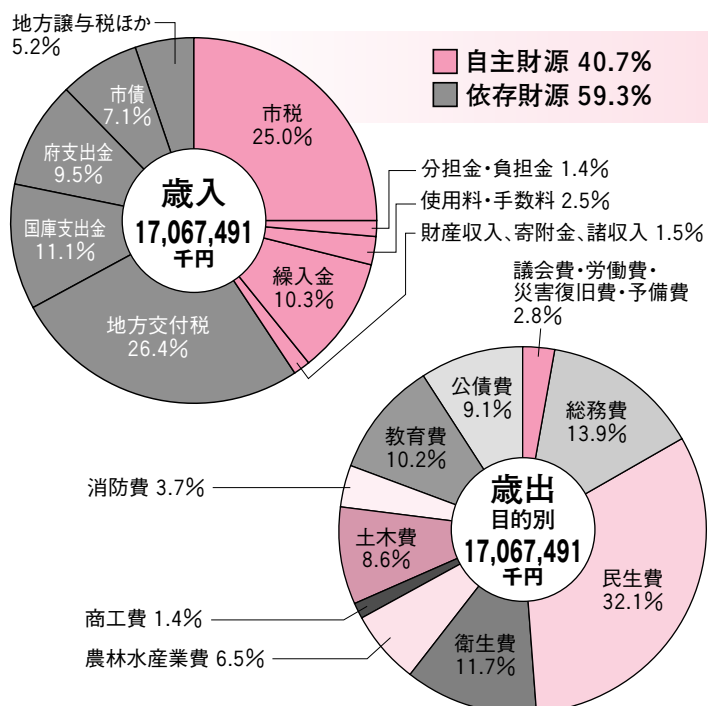
新年度予算の主なもの

◆一般会計予算◆

前年度対比1.8%減の170億6,749万円

- 第3子以降保育料免除制度 (免除額4,559万円)
 多子家庭を支援
- 臨時福祉給付金支給事業費 (7,032万円)
- 多面的機能支払交付事業費 (1億1,767万円)
 農用地の環境保全向上活動を支援
- 新規就農総合支援事業費 (1,688万円)
 新規就農者を支援
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業費 (1,200万円)
- 空き家活用定住支援事業費 (1,500万円)
 定住希望者の空き家改修を支援
- 東綾中学校改築事業費 (2億4,277万円)
 施設一体型小中一貫校を整備
- 地域未来塾事業費 (348万円)
 地域で支える学習支援
- 国民健康保険特別会計 (44億8,367万円)
- 介護保険特別会計 (48億4,595万円)
- 上水道事業会計 (16億 968万円)
- 病院事業会計 (63億 565万円)

平成27年度 歳入歳出の状況(一般会計)



討論

今定例会では、4人の議員が議案の採決に際して、各々賛成・反対の立場から討論を行いました。ここではその要旨を掲載いたします。

議第16号 介護保険条例の一部改正について



公明党 森 義美

介護保険制度は社会全体で高齢者介護を支える仕組み。制度創設以来広く定着してきたが、総費用も急速に増大し課題となっている。

今回は、基準となる年額の保険料と保険料の段階数、各段階の基準所得金額の改正を行うものである。基準月額、年額もアップするが、増額要因として、施設整備充実、独居老人や後期高齢者の

人数の伸びが著しく、要介護認定者やサービス利用者が増えているためである。軽減策として、負担能力に即した保険料負担段階を12段階から13段階に、特に低所得者層には配慮されている。今後は世代間の給付と負担の均衡を図ることが最も必要であり、社会全体で支え合う持続可能な介護保険制度はますます重要である。



日本共産党 搦 頭 久美子

「介護の社会化」というたわれスタートした介護保険だが、保険料基準額一カ月6202円は当初の2・4倍で、支払い能力を超えている。所得階層を13段階にしたことは一定評価するが、他市にならぬ、さらに細分化は可能。

また非課税世帯の保険料軽減策も可能ではないか。市は今後の保険料について、「10〜20%アップが必要。危機感を持っている」と答弁。医療介護総合法で、介護サービスの切り捨てをしても、なお保険料引き上げが避けられないということだ。持続可能な制度にするには、自民・公明党が以前に公約していたはずの「国庫負担引き上げ」しかない。社会保障の財源を消費税増税に求めるのではなく、公約を実現させるべきだ。



創政会 波多野 文義

当初予算は「住みたくなる綾部創生予算」として、課題への新しい流れをつくる施策に、戦略的かつ果敢に取り組みべく重点配分されており、大いに評価をする。

子育て支援に傾注するとともに、地域経済の活性化や安全・安心の取り組み、さらには教育環境の充実や定住促進など、将来への種まき型予算になっている。

限られた財源の中での予算であり、執行に当たってはさらなる知恵と工夫により、実りある予算となるよう期待する。安定水源である由良川の水利権を保持活用することは、将来にわたり安定供給を行う上で絶対条件となる。また、高濁度の水を大量に処理し安全な水にするには、膜ろ過を利用した浄水システムが必要である。



日本共産党 井 田 佳代子

世論調査で、「国や社会に目を向けるべき」より「個人生活の充実を重視すべき」が41%。市に求められるのは命と暮らしを守ること。市民に寄りそった予算を組むことを求める。

①原子力災害に対し、実効性ある避難計画を早急に作成し高浜原発再稼働に反対すること。部落解放同盟への団体補助金は廃止を。公的年金給付抑制により実質年金は引下

げとなる。府のマル老の制度は現状1割負担継続を。

②要介護状態の高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるように、市独自策を。

③新第一浄水場の浄水計画は、現施設平均給水量をあげ有効活用を。導入予定の「膜ろ過方式」は経費負担が大きい。「新緩速ろ過方式」との比較検討内容を市民に示すこと。

平成27年6月定例会の日程予定

6月定例会は、6月15日から7月3日までの19日間の会期で予定しています。

6月15日(月) 本会議 (議案上程 人事案件採決)
22日(月) 請願受理締切り (正午)
23日(火)~25日(木) 一般質問
26日(金) 予算決算委員会 (総括質疑)

6月29日(月) 総務教育建設委員会
30日(火) 産業厚生環境委員会
7月 1日(水) 予算決算委員会
3日(金) 本会議 (採決)

※日程は予定です。最新はホームページをご覧ください。

議決（可決・同意）結果の一覧（○=可決、●=否決）

（賛成：○、反対：×）	民 政 会	創 政 会	共 産 党	新 政 会	公 明 党
【市長提案の議案】					
○教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○
○市立幼稚園保育料等に関する条例の制定	○	○	○	○	○
○市立保育園設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○
○子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の制定	○	○	○	○	○
○介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例の制定	○	○	○	○	○
○地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○
○指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○
○行政手続条例の一部改正	○	○	○	○	○
○職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○
○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○
○教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○
○手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○
○市立小学校設置条例の一部改正	○	○	○	○	○
○人権福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○
○保育及び教育の実施に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○
○介護保険条例の一部改正	○	○	×	○	○
○指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○
○指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○
○保育の実施に関する条例の廃止	○	○	○	○	○
○市有財産中一部処分	○	○	○	○	○
○訴えの提起	○	○	○	○	○
○消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○
○国民健康保険条例の一部改正（議第46号）	○	○	○	○	○
○国民健康保険条例の一部改正（議第47号）	○	○	○	○	○

（賛成：○、反対：×）	民 政 会	創 政 会	共 産 党	新 政 会	公 明 党
【平成27年度当初予算】					
○一般会計予算	○	○	×	○	○
〈10特別会計〉					
○市立診療所等特別会計予算	○	○	○	○	○
○農林業者労働災害共済特別会計予算	○	○	○	○	○
○国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○
○介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○
○後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○
○駐車場特別会計予算	○	○	○	○	○
○簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○
○下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○
○地域排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○
○住宅・工業団地事業特別会計予算	○	○	○	○	○
〈2企業会計〉					
○上水道事業会計予算	○	○	×	○	○
○病院事業会計予算	○	○	○	○	○
【平成26年度補正予算】					
○一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○
○国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○
○介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○
○後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
○駐車場特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○
○下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
○地域排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
○住宅・工業団地事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
○上水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○
○病院事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○
【人事案件】					
○人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○
○教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○
○監査委員の選任	○	○	○	○	○
【議会提案の議案】					
○市議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○

各議員の態度

- ※1 すべての議案において、会派内等で可否の態度が分かれたものはありません。
- ※2 議長は議案の採決に加わっていません。

代 表

一 般

質 問

質 問

今定例会では、3月8日から10日までの3日間にわたって16人の議員が市政全般について質問を行いました。

なお、8日は「日曜議会」を開催し、各会派の代表4人が質問を行いました。

ここでは、代表質問と一般質問の要旨を掲載いたします。
(掲載は登壇順)



駅北周辺の航空写真

創政会

塩見 麻理子

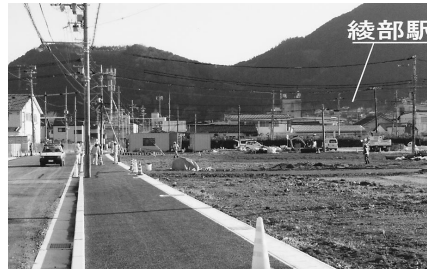
高速道路開通とまちづくりの今後は

Q 待望の京都縦貫自動車道の開通は。
A 瑞穂トンネル工事の遅れで、7月に開通。Q ストロー現象になつてはいけない。吉美から綾部駅周辺への流れを作る対策が必要。インター線沿いの調整区域の今後は。駅北周辺整備の充実が必要で、

市民センターの移設も含め住宅・ものづくりパーク・民間(スタバなど)図書館・商業・福祉施設とPPP(公民連携)政策を取り入れ、京都北部の核となる多世代交流多機能拠点をお願いしたい。
A 綾部インター線は、発展する可能性を秘めている。市の活性化につながるのと期待する。綾部駅の北側一帯のグランドデザインを描ける時期がきた。都市計画の区

域区分見直しも27年度に実現の見込み。交通環境も整い民間活力に期待するとともに、府北部産業振興の中核拠点整備等、京都府と連携したい。利便性の高い駅周辺に住宅整備の必要性は感じている。
Q 綾部中学校の給食開始時期と体制強化を。
A 28年度に設計、30年4月に開始したい。
Q 青野にできる障害者福祉サービスの拠点について概要は。

A 母子寮の跡地に綾部福祉会が28年度に新たな福祉サービスの拠点として開設される。
Q 障害のある児童の放課後支援を。
A 現在ないのが実態であり、研究する。
Q 子育て医療費や多子世帯の優遇を評価する。子育て教育の充実策を。
A 2020年に若い世代の希望を叶えるのが総合戦略の基本目標。今後力を入れていく。



変わりつつある駅北

民政会

高倉 武夫

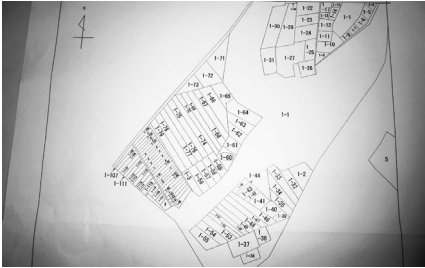
新たな未来に向けた事業展開を

Q 今を綾部市発展の転機ととらえ、地方版総合戦略策定のために、綾部市創生推進本部が設置された。地方創生にかける思いは。
A 総合計画前期5年を総括し、後期基本計画とあわせ、綾部市版総合戦略を策定する。
Q 綾部市創生推進本

部の体制は。また今後の作業スケジュールは。
A 市長を本部長とし副市長、教育長、各部長で組織し、27年度中に総合戦略を策定する予定。
Q 綾部市の定住促進事業は多くの自治体からの視察を受けるなど全国的にも注目を集めてきた。その実績と評価は。
A 7年間で135世帯、320人の実績である。これは全国第3位と評価されている。

Q 地域が求める人材を積極的に呼び込む移住策が必要ではないか。
A 地域と定住者、行政が一緒になって地域づくりを検討したい。
Q 縦貫道完成を機に綾部の小規模農家の意欲向上のためにも、農業、農産物を市外に大々的にアピールする事業を検討しては。
A 直売所やJAなどと連携し、小規模農家であっても生産意欲に結びつく作付や販売ル

ートの開拓、PR方法を検討していきたい。
Q 京都府は海の京都に続き、森の京都事業を打ち出した。この事業はいかなる事業か。
A 森の多面性を生かし、維持、保全、文化の発信、観光振興を図ろうとする事業。重点エリアを西部は里山ねつと周辺、東部はJR山家駅を玄関口とした上林地区とし、綾部市版の計画を府に提出している。



公図（山林）の現状

新政会

村上 宣弘

所有者不明の土地増加と対処は

Q 地方からの人口流出等に伴い、不動産登記上の所有者が変更されずに所有者不明の土地が増えている。このような所有者不明の土地が当市にも存在しているのか。また所有者不在の土地に対する対処方法は。

A 納税義務者の住所

や実態等が不明確となり、徴収実務に支障を来している事例が増えていると認識している。相続財産管理人制度等の対処方法がある。

Q 所有者不明の土地が影響する現在の地籍の状態と今後の見通しは。

A 本年度は地籍調査アドバイザーによる必要性、実施方法について職員研修を行った。来年度も本格実施に向

けて検討を行う。

Q 固定資産税収入にも影響がある未納の税金を、時効などで消滅させる不納欠損額の当市の累積は。

A 京都地方税機構へ移管した平成23年度以降、件数で292件、金額で1億8927万円。

Q 相続登記未了の場合の相続人調査の限度は。

A 公平で公正な課税のため、納税義務者の

住所や相続人の住所氏名が判明するため調査を行う。

Q 登記名義人が死亡している場合でも死亡者に課税する「死亡者課税」により課税義務から一旦はずし、保留する「課税保留」の本市の実態はどうか。

A 死亡者課税による課税保留は行っていない。免税点以上の固定資産税についてはすべて課税している。



高浜原発

日本共産党

搦頭 久美子

市内中小業者の応援を原発ゼロの決断と再稼働に反対を

Q ほくとしんきん中小企業景況レポートでは、消費税10%増税で64・7%が悪影響を受けると危機感をもっていている。市内の経済状況について見解は。

A 大企業を中心に業績が回復し、増税後初めてプラス成長。一方、市内の状況は依然厳し

い。北都信金調査では、47・3%の事業所が業績が悪くなると予想している。

Q L・Oの報告に「日本で、非正規労働が増大し賃金の停滞をもたらした」と指摘あり。若者の正規雇用化を進めることが重要だが見解は。

A 市内事業所実態調査で非正規は約35%。技能を必要とする職種で人手不足が発生。若者の雇用には地元中小

企業の支援が必要であり、支援策を検討していきたい。

Q 阪神淡路大震災10年後検証委員会報告で震災直後、市内建設業や小売店が大きな役割を發揮したという。地元中小業者の応援は、災害に強いまちづくりにつながるが見解は。

A 災害との関連は限定的であるが、真の意味での日本経済の復興には中小企業の業績改善が必要不可欠と考える。

Q 「高浜原発に係る安全協定」に再稼働の同意権がないことは問題だ。実効性ある避難計画策定、原発ゼロへの政治決断をするべきだ。

A 今回の協定は一歩前進だがこれで十分ではなく、さらに協議を進めたい。原発の代替エネルギー確保は十分でなく、ゼロにするため、産業への影響が大きい。原発再稼働には安全確保が大前提だ。

地方創生・プレミアム商品券・新教育
委員会制度とは

公明党

森 義美

Q まち・ひと・しごと創生法に基づき、地方版総合戦略の策定が努力義務として課せられているが、戦略を立てるための人材確保についての考えは。

A 平成27年度に非常勤特別職として、民間シンクタンクから派遣を予定している。4月からの採用に向けて国との調整に入っているところである。

Q 地域の消費喚起と低所得者など、生活支援に取り組み交付金が成立し、各自治体の知恵を絞った企画が期待されている。本市では、プレミアム商品券の発行予定であるが、その内容、発行日発行場所はどうか。

A 市内の消費喚起と低所得者世帯、多子世帯に対する支援の要素も加え20%のプレミアム付商品券を実施したい。発行事業は商工会



消費喚起・生活支援にプレミアム商品券

議所に業務委託を考えている。発行日、発行場所等の詳細は商工会議所等関係機関と協議したい。

Q 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され昨年6月に公布、本年4月1日から施行されるが、その概要はどのようになっているか。

A 責任体制を明確化するため教育委員会の委員長と教育長を一本化し新教育長を置く、総合教育会議の開催、教育大綱の作成などを行う。

国保の都道府県単位化(共同化)は
やるべきではない

日本共産党

吉崎 久

Q 国保の共同化の目的は何か。

A 小さな自治体が多い中で、安定的な財政運営が困難なために、規模拡大をするもの。

Q もともと法律は市町村によって状況が違ってくるから、保険者を各自自治体とした。共同化で運営すれば何が解決できるのか。

A 1カ月の医療費が何かの事情で高額になった時、対応が厳しい場合、大規模化して危険を分散することができ運営の安定化を図られる。

Q 高額医療については、「再保険制度」でカバーしているのではないか。今後の保険料は、府が示す金額を「分賦金」として拠出しなければならず、保険料が値上げになるのではないか。

A 確定しているわけではないが、府で配慮



健康増進の拠点(保健福祉センター)

第三次地域福祉計画、グンゼスクエア・
特産館の現状と今後の抱負を問う

新政会

久木 康弘

Q 第三次綾部市地域福祉計画が公民協働のもと、実効性のある内容と推進状況の定期的な点検やヒアリング団体との連携による講演会やイベント等の要望にどのように対応しているのか。

A 策定に関わるヒアリング団体からの具体的な事業についての意見や提案は、それぞれ担当している部局で検討し、しっかりと対応していきたい。

Q 昨年5月に特産館がオープンし、12月には来館者が10万人を超えた。しかし来館者イコール実質上の経営活性化の集客とは限らず、厳しい現実がある。現状の収支はどうか。

A 26年度の収支状況は、会計年度途中であり具体的な数字で報告はできないが、年度目標としてきた額の達成は厳しいと考える。



上空から見たあやべ特産館

Q 大変な努力にて経営に努められていることは理解するが、指定管理者の経営ノウハウの強化やさらなる行政の果たす役割と協力関係団体との連携を含めた今後の抱負は。

A 各種イベントを年間を通じ開催。品切れが無いよう供給体制の充実、博物苑広場のガーデン化、バラ園散策道整備、レンタサイクル事業等に取り組み集客アップに努める。

一人親家庭への市の取り組みは
リハビリテーション推進事業とは

民政会

松本幸子

Q 一人で仕事をし子育て中の母子・父子家庭は、経済的にも大変である。もう少し手厚い支援ができないか。現在の市の取り組みは。

A 国の児童扶養手当、府のひとり親医療制度、母子家庭奨学金。さらに自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等の支給により、経済的な自立を図る。家庭児童相談室による相談支援を実施。

Q 平成27年度当初予算に、先端的リハビリテーション推進事業費として、府立医科大学と市立病院がロボットを活用したリハビリテーションの共同研究費が計上されている。この共同研究の内容とは。

A 歩行練習アシストロボットとバランス練習アシストロボット各一台を導入する。患者さんに装着利用して



歩行練習を支援するロボット

らい、ロボットの使用前後の歩行評価、バランス機能評価、筋力測定等を検証し、この研究結果を学会に発表する予定。

Q 共同研究によって見込まれる効果とは。

A 患者さんのニーズの解析や医療機能の向上。専門医等の派遣により、整形外科リハビリ室の機能充実が図れるなど特色のある医療体制を推進する中で、専門医の確保にもつながる。

綾部の将来構想と線引き廃止後の
「小さな拠点」づくりを

民政会

相根一雄

Q 国土交通省の補助事業である「ふるさと集落生活圏」「小さな拠点」こそが綾部市の旧村部の将来まちづくり。都市計画の将来構想の目指す方針は。

A 綾部市の特徴を生かすまちづくりとして、また地域振興の方策は、地域クラスター戦略が方針であり、この戦略はまさしく「小さな拠点」に通じることを考える。

Q 高速道路の開通が7月に予定され、本市に良い風が吹いてきている。これらを追い風に、綾部市の線引き廃止後の都市計画における将来構想を伺う。

A 線引き廃止の目途がついてきたので、この規制緩和をプラス材料にして、都市計画マスタープランに定める計画実現に向けて邁進し、市全体の地域振興



地域の拠点「志賀郷公民館(多目的ホール)」

と活性化を目指す。Q 高速道路の開通が目前となった現在、しかもクロスする地区である条件抜群のロケーション地域の綾部市として、どこに整備効果を求めているのか伺う。

A 綾部市として、高速道路の整備効果を発揮するため、まちづくりの面では都市計画マスタープランを作成し、地域振興と活性化を図り市域全体の発展を目指す。

消防団員の確保と更なる拡充を
全天候型陸上競技場の整備を

新政会

片岡英晃

Q 消防団の団員数と充足率は。A 条例定数960名に対して、団員総数が883名、充足率は91・98%である。

Q 平成24年度に開催された綾部市消防団活性化検討委員会が示した検討事項を受けての取り組み状況は。

A 団員の確保にむけ、入団の呼びかけを行うとともに、FMにかかる出演し消防団の必要性等をPRしている。Q 今回、新たに消防団員証を作成した意図と活用方法は。

A 家庭防火点検等を行う際、団員である証明書があれば効果的と判断し作成した。今後の活用方法については検討中である。Q 消防団で使用している消防車両について配置換え等の見直しを検討されているのか。

A 配置計画に基づき、今後も整備を進めていく。Q 総合運動公園の整備計画があったと聞かすが、現状は。

A 平成15年の遠的弓道場の整備をもって一定の整備は完了した。Q スポーツ振興を図る上でも、全天候型の陸上競技場を整備してはどうか。

A 重要性は理解するが、現在、そのような計画は持っていない。その他、森の京都市業と水源の里事業との連携について質問した。



整備された遠的弓道場

綾部創生の実現に必要な力を！
電気料金値上がりへの対策を！

民政会

種 清 喜 之

Q 綾部創生実現には市職員の政策形成能力や提案能力が重要だと考えるが、能力向上に向けた人材育成の計画や市長の考えは。

A 平成27年度には、北部7市町が共同し、課題発見や解決能力を育成するため、年9回の合同研修を行う予定。一方で、最も力がつく実際の業務の中で成功体験を実現できる様な職場環境を整えることも重要。

Q 4月からの電気料金値上がりによる市内企業の状況と市の見解は。さらに、値上がり後は市内に大きな影響が懸念されるため、UPZ圏内であり、ものづくりのまちである綾部市から、関電、国、府に対策を求める強い声を上げることが要望。

A 平成25年4月の値上げと合わせると、2年間で約3割の電気料



綾部市役所

金値上げとなり、市内事業所に与える影響は大きい。関係機関や府と連携し国、関電への要請と、適切な事業所支援に努めたい。

その他に、農地中間管理機構の現状について、京都縦貫自動車道開通後の観光戦略について、訪日外国人旅行者、農村スポーツ合宿誘致の提案、観光パンフレット等の情報発信の取り組みについて、物部小学校の複式学級について質問をしました。

市立病院産婦人科の現状は
認知症徘徊搜索情報をメール配信しては

民政会

吉 崎 進

Q 平成25年度から分娩を休止せざるを得ない状況となり、その後、市長や府会議員、各関係者による努力により、非常勤医師が派遣され、計画的な分娩に限って再開することができているが、分娩の実態はどうか。また今後の医師確保に向け状況はどうか。

A 26年7月からは、綾部市内に限らず近隣地域の方とか、里帰りの方を対象に、初産婦、経産婦を問わずローリスクの分娩を受け入れる体制をとっている。26年度は、46件の分娩予定である。医師確保については厳しいが、最重要事項として取り組んでいきたい。

Q 認知症患者の徘徊による搜索は、命にかかわる問題であり、一人でも多くの方が情報を共有し、早く発見することが重要となるこ



綾部市立病院

とから、搜索に関する情報を市民にメール配信する方向で検討願いたい。

A 「高齢者対策SOSネットワーク」については、以前は電話かファックスが主流で、現在の状況は想定していなかった時代である。指摘のとおり、人の命にかかわることであり、今後メールマガジンの活用も含め、検討していきたい。

土砂災害から命を守るために
燃やして処理するごみの減量化を

日本共産党

井 田 佳代子

Q 京都府による土砂災害警戒区域の地域説明会は、全市内で間もなく終了するが、出された質問や意見は。

A 「指定された区域で、砂防施設工事、急傾斜地対策工事が施工できないか。自宅から避難所に向かうまでのルート上に、特別警戒区域がある場合、どうすればよいのか」などの質問があった。

Q 自治会、自主防災会単位で作成されている地域版のマップがある。地域の危険箇所などが記入されており、安全に避難するために有効。まだ作成していない地域に、作成のための援助が必要ではないか。

A 自治会単位での防災マップなどを作成していたことは大変重要。防災マップ作成経費も自主防災組織育成事業費補助金の対象



収集された「燃やして処理するごみ」

となる。

Q 第5次市総合計画で資源物、紙等の目標値は1500トン。地域では資源回収やPTAの皆さんの取り組みも行われている。これを達成するための方策は。

A 各自自治会やPTA活動により紙類の資源化の促進を図ってきた。古紙回収用保管庫の設置費補助金制度も設けて、ごみの減量化、資源化に向けて対応を行っている。

改築される東綾中学校を綾部市の東の玄関、山家・口上林の新たなシンボルに

創政会

荒木 敏文

Q 東綾中は昭和27、28年度に建設され、外観は古くなっているが、板の廊下はピカピカに磨かれ、中学時代が昨日のこのように蘇ってくる。いよいよ改築だが、今後のスケジュール、計画は。

A 平成27年度から新校舎建設にかかり、29年4月から施設一体型一貫校として開校する予定で、東綾小学校を改修し、渡り廊下で接続した新校舎を建設する。プールは新校舎完成後、中学校跡地に建設する。



改築される東綾中学校

Q 具体的にどんな校舎を建設するのか。そのコンセプトは。

A 児童生徒の生活・学習環境に配慮し、日当たりと風通しを重視し、普通教室は、全室南向きにし、自然光を取り入れ、廊下は片廊下式として自然換気しやすく、また地域が要望された交流の場を設けるとともに災害発生時の避難行動にも配慮した設計にしている。内装については木質化を図って温かみのある校舎になるよう考えている。

新浄水場計画は「身の丈に合った」施設を高い水道料金の引き下げを

日本共産党

堀口 達也

Q 新第一浄水場建設の浄水能力は今より大きく、日量7500m³であり、第二・三浄水場能力と合わせると計画日量最大給水量の1・5倍になる。人口減少・節水機器の普及などから、身の丈に合わない過大な施設だ。

A 由良川からの水利権すべてを浄水する施設にし、安定した水の確保を優先した。今までは5850m³の浄水をしてきた。第二・三浄水場の水源は地下水で水位の低下があり不安定な水源である。

Q 第二・三浄水場水の低下はメンテナンスも含め水量確保に努力すべきだ。第一浄水場の規模を大きくしたことにより浄水を、膜ろ過方式に変えた。そのことによる事業費用が大幅に増額している。

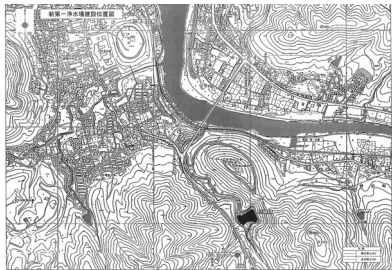
A 事業費は、15億円から19億円に増えている。膜ろ過方式は、指摘のように、建設費と維持費は少し割高となる。しかし濁水の除去では、緩速ろ過方式に比べ効率が良い。

Q 建設予算は提案されているが、今後の水需要計画はない。

A 26年度中に、中期水道需要ビジョンを策定する予定が少し遅れている。6月には提出をしたい。

Q 基本水量や量水器の見直しで水道料の引き下げを。

A 水道料金はビジョン策定の中で検討する。



新第一浄水場建設予定地

利便性の高いところでの住宅建設は介護保険制度改正への対応は

創政会

波多野 文義

Q 高齢化が一層深刻化する前に、移動制約者である交通弱者への交通手段確保に対し、現状を分析し、持続可能な効率のよい交通政策を検討する必要があるのでは。

A 高齢化社会での交通弱者対策は大きな課題で、交通政策だけでは解決できない問題でもあり、先進地事例や補助制度なども検討しながら、今後、研究や検討を重ねていきたい。

Q 新婚家庭や都会から来られた単身赴任者やその家族などに、綾部に住んでいただくため、駅周辺など利便性が高いところでの住宅建設などが必要では。

A 中心市街地や駅周辺において、その必要性が高まっていることは認識している。民間活力による駅周辺の土地の有効活用について、様々な角度から検討を

進めていきたい。

Q 介護保険制度の改正で、要支援1・2の全国一律の予防給付を一部市町村事業に移行する、いわゆる新しい総合事業を実施することになっているが、移行スケジュールは。

A 新しい総合事業への移行を想定し、モデル事業に取り組んでいる。これらの状況を検証したり、関係機関との調整などを行い、できれば平成28年度からの実施を目指したい。



福知山市・鬼の里定住促進団地

～次世代からのメッセージ～

シリーズ
小学生

第3回の「小学生編」は、豊里小学校へ編集委員が訪問し、平成27年3月に6年生(現在は中学生)6人と5年生(新6年生)2人の企画委員の声を聞いてきました。豊里小学校は「主体的に学び、かしこく、やさしく、たくましく生きる子どもを育成する」ことを教育目標とし、①主体的に学習し、深く考える子【かしこく】②心やさしく、思いやりのある子【やさしく】③じょうぶな体で、ねばり強い子【たくましく】を「めざす児童像」としてかけ、取り組んでおられます。

Q・学校のどんなところが好き？

こんなところ！

学校がとてもきれい。多目的スペースがある。給食がおいしい。先生がやさしい。大きな声であいさつができる。見守り隊の方々安全のために尽くしてくれる。何かあればみんなで協力し合えるところ。給食の献立は栄養担当の先生が考えてくれる。学年関係なく仲良く遊べる。カモ・カメをみんなで大切に飼っている。ソーラーパネルを利用し環境に配慮しているところ。給食が地産地消・栄養満点。本がたくさんある。空気おいしい。先生の授業が分かりやすい。体育館がとてもよい。バリアフリーがたくさんある。グラウンドが大きく、みんな積極的に外へ遊びに行く。

豊里小学校



企画委員の8名

Q・地域(綾部全体)のどんなところが好き？

こんなところ！

自然豊かで静かなところ。祭りが多い。きつねがえりなど歴史の深い行事がある。優しい人が多い。緑が多く空気がきれい。道づくりや資源回収を手伝ってくれる。昔から伝わる文化がある。地域の方が積極的にしゃべりかけてくれる。自治会での行事で様々な年代の方との交流がある。ゆるキャラがかわいい。地域の人は元気。みんなが親切。公園がたくさんある。給食においしい旬のとれたて野菜を届けてくれる。

Q・地域の人にありがとう！周りの大人たちに感謝していることは？

毎朝危険なところを見守ってくれること。みんなが親切なこと。いつも笑顔でいてくれること。僕たちのために公園をつくってくれたこと。資源回収を手伝ってくれること。公園の草刈りなど自主的にしてくれること。学校の行事に参加してくれること。いろいろな行事を行ってくれること。支えてもらっているところ。気遣ってくれるところ。一生懸命育ててくれているところ。優しい声をかけてくれること。見守り隊の方々いつもありがとう！

Q・大きくなったらどんな仕事がしたい？(目標)

科学者になり裕福に暮らしたい。野球選手。社会に貢献できる大人になりたい。本で人を笑わせたい。産婦人科の医者。生徒との約束を大切に中学校の先生のサッカーを続けたい。人の役に立つ仕事。誰かに何かを教える仕事。人を笑顔にする仕事。自然を守る仕事。パン屋さん。テニスプレーヤー。ノーベル賞を取りたい。地球を守る仕事。宇宙飛行士。教員。生き物を育てる仕事。アディダスの会社に入りたい。回転寿司の仕事。

～取材を終えて～

取材前は、大変緊張していたようですが徐々に和やかになり、いろいろな話が聞けました。豊里小のみなさんは、学校や地域が大好きで、地域のみなさんの見守り、声かけに感謝しているんだなと感じました。これからも学校行事や地域行事など積極的に参加し、いろいろな交流を深め、友だちを大切に、思いやりを持ち、感謝を忘れず、勉強にスポーツにがんばってほしいな！(担当委員)



時計台(校舎)の前で

編集/議会だより編集委員会

安藤 和明
吉崎 進
種清 喜之
荒木 敏文
吉崎 久
井田佳代子
片岡 英晃
森 義美



編集後記

桜の花も終わり山々は緑一色となってきました。いよいよ本年7月に京都縦貫自動車道が、全線開通の運びとなつてまいりました。北近畿に新たなページが刻まれようとしています。市議会としても本市の発展に努めてまいります。また「議会だより」も、より充実した紙面となるよう編集委員一丸となり頑張つてまいります。今年度もよろしくお願いたします。

